

## 鳥類・爬虫類・馬等を扱う方の個別研修



### 個別研修

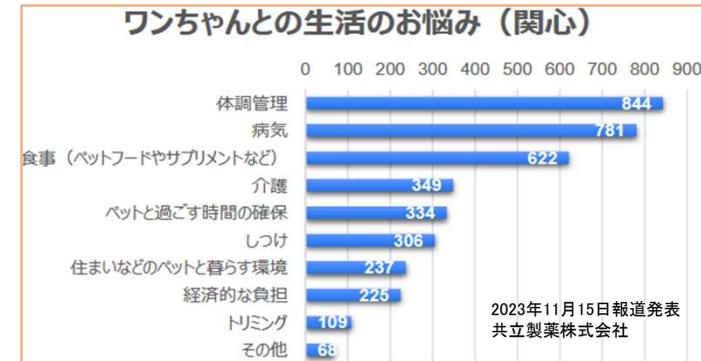
- ワンちゃんとの生活でお悩み(関心)は何ですか
- 動物愛護管理法第21条(基準遵守義務)
- (環境省令)動物の管理方法等に関する基準
- 自主研修(各自で質問に記入→答え合わせ)
- 健康安全計画作成の体験
- 健康安全計画の運用 (PDCAでレベルアップ)

47

## Q. ワンちゃんとの生活で今一番、お悩み(関心)は何ですか?

(複数回答可) (n=1,640)

1位「体調管理(51.5%)」、2位「病気(47.6%)」、3位「食事(37.9%)」  
犬の健康面の関心が高いことがうかがえる。



48

## 動物愛護管理法 第21条 (基準遵守義務)

### 目標①

### 目標②

第一種動物取扱業者は、**動物の健康及び安全を保持するとともに、生活環境の保全上の支障が生ずることを防止するため**、その取り扱う動物の管理の方法等に関し環境省令で定める基準を遵守しなければならない。

### 視点①

### 視点②

前項の基準は、**動物の愛護及び適正な飼養の視点を踏まえつつ、動物の種類、習性、出生後経過した期間等を考慮して**、次に掲げる事項について定めるものとする。

すべての動物一般に適用される基準を次の七項目で示す。…青文字は健康安全計画で引用

- 一 飼養施設の管理、飼養施設に備える設備の構造及び規模並びに当該設備の管理に関する事項
- 二 動物の飼養又は保管に従事する従業者の員数に関する事項
- 三 動物の飼養又は保管をする環境の管理に関する事項
- 四 動物の疾病等に係る措置に関する事項
- 五 動物の展示又は輸送の方法に関する事項
- 六 動物を繁殖の用に供することができる回数、繁殖の用に供することができる動物の選定その他の動物の繁殖の方法に関する事項
- 七 その他動物の愛護及び適正な飼養に関し必要な事項

49

## 環境省令で定める動物の管理方法等に関する基準

### ■ 飼養施設の管理

清掃・消毒は、どこを?どの方法ですか具体的に考える

- ① 定期的に清掃・消毒を行う。
- ② 汚物、残さ等を適切に処理する。
- ③ 衛生管理及び周辺の生活環境の保全に支障が生じないように清潔を保つ。
- ④ 一日一回以上巡回を行い、保守点検を行う。
- ⑤ 清掃・消毒及び保守点検の実施状況を記録した台帳を調製し、五年間保管する。

### ■ 飼養環境の管理

何を?どのように点検、記録するか具体的に準備する

- ① 動物の生理、生態、習性等に適した温度、明るさ、換気、湿度等を確保、騒音を防止する。
- ② 犬猫以外の動物の展示を行う場合は、明るさの抑制等に配慮する。
- ③ 犬猫の飼養施設に温湿度計を備え、低・高温による動物の健康に支障がないよう管理する。  
犬猫と動物を分けて基準を示しています。
- ④ 臭気による飼養環境、周辺の生活環境を損なわないよう清潔に保つ。
- ⑤ 犬猫は自然採光・照明により、日長変化に応じて光環境を管理する。

50

## 環境省令で定める動物の管理方法等に関する基準

### ■動物の疾病等に係る措置

- ①新たな動物の導入は、当該動物が健康であることを目視か導入の相手方等から聴取り確認する。
- ②確認が取れるまでの間は、必要に応じて他の動物と接触させないようにする。
- ③動物の疾病、傷害予防、寄生虫の予防・駆除等日常的な健康管理を行う。
- ④疾病の予防等のため必要に応じてワクチン接種を行う。
- ⑤ねずみ、ハエ・蚊・ノミ等により動物が健康被害を受けないよう侵入防止、駆除を行う。

### ■その他動物の適正な飼養保管に必要な事項

- ①感染性疾病のまん延・闘争防止のため、親子・同腹子等を除き、顧客の動物を個々に収容する。
- ②動物の種類、数、発育・健康状態、飼養環境に応じた適切な量、回数の給餌給水を行う。
- ③一日一回以上巡回して動物の数・状態を確認する。
- ④確認した実施状況を記録、台帳を調製して五年間保管する。

動物の状態は、どのように確認すればいいの？

51

## 犬猫等販売業に係る特例の創設等 平成24年法改正

- ① 幼齢個体の安全管理、販売が困難となった犬猫等の扱いに関する犬猫等健康安全計画の策定・遵守 (第10条第3項、第22条の2)
- ② 犬猫等の適正飼養のための獣医師等との連携確保 (第22条の3)
- ③ 販売が困難となった犬猫等の終生飼養の確保 (第22条の4)
- ④ 出生後56日を経過しない犬猫の販売引渡し・展示の禁止 (第22条の5)
- ⑤ 犬・猫等の所有状況の記録・報告 (第22条の6)
- ⑥ 感染性の疾病の予防措置 (第21条の2)
- ⑦ 販売困難になった場合の譲渡しを努力義務として明記 (第21条の3)

52

## 哺乳類・鳥類・爬虫類の新たな基準を国が検討中

犬猫の販売・繁殖では、動物の管理方法等に関する基準(環境省令)が具体的な内容、ポイントを通知で示し、さらに、幼若な犬猫等の健康安全計画の作成、遵守が求められています。

中央環境審議会動物愛護部会(令和6年3月)で哺乳類の基準を令和6年度以降に策定、解説書を作成予定、爬虫類、鳥類は、令和7年度以降？

作成にあたっては…

アニマルベースドメジャーの考え方を基本とする。

動物の外貌(ケガ、毛づや)、表情、行動の状態で判断する

53

## 鳥類・爬虫類・馬等の自主研修のテーマ

そこで今回は、爬虫類・鳥類・馬等の健康安全計画の作成を体験してください。

健康安全計画は、動物の健康と安全を守るのに必須です。

基準の「一日一回以上巡回して動物の数・状態を確認する。確認した実施状況を記録、台帳を調製して五年間保管する。」のにも役に立ちます。

健康安全計画の作成のイメージがつかめればOKです。

分からないことは、講師がナビゲートしますのでご安心ください。

54

## 動物愛護管理法 第21条（基準遵守義務）

第一種動物取扱業者は、動物の健康及び安全を保持するとともに、生活環境の保全上の支障が生ずることを防止するため、その取り扱う動物の管理の方法等に関し環境省令で定める基準を遵守しなければならない。

前項の基準は、動物の愛護及び適正な飼養の観点を踏まえつつ、**動物の種類、習性、出生後経過した期間等を考慮して**、次に掲げる事項について定めるものとする。

- 一 飼養施設の管理、飼養施設に備える設備の構造及び規模並びに当該設備の管理に関する事項
- 二 動物の飼養又は保管に従事する従業者の員数に関する事項
- 三 動物の飼養又は保管をする環境の管理に関する事項
- 四 動物の疾病等に係る措置に関する事項
- 五 動物の展示又は輸送の方法に関する事項
- 六 動物を繁殖の用に供することができる回数、繁殖の用に供することができる動物の選定その他の動物の繁殖の方法に関する事項
- 七 その他動物の愛護及び適正な飼養に関し必要な事項

赤字部分を健康安全計画の骨子にできます

55

## 爬虫類・鳥類・馬等の健康安全計画の骨子（イメージ）

- ① **動物の種類、習性、出生年月日、飼養経過、病歴等**の健康安全に関する基本情報を個体または群単位で記録する。
- ② **動物の飼養・保管をする環境の管理**は、清掃・消毒、飼養場所の温度（最高と最低）・湿度、施設設備の保守点検について、具体的に誰が、何を、どのようにするか手順を決め、関係者に周知する。
- ③ **動物の疾病等に係る措置**は、家畜伝染病、人畜共通感染症、動物の病気について予防と防疫が的確に行えるよう責任者の配置、点検記録、連絡体制、消毒（資材）などを定める。
- ④ **動物の展示・輸送の方法**は、展示場所・輸送車両内の通風換気、温湿度調整、休憩時間について定める。
- ⑤ **動物を繁殖の用に供することができる回数、繁殖の用に供することができる動物の選定、その他の動物の繁殖の方法**は、飼養経過、病歴等を考慮して動物の健康安全に支障がないように定める。
- ⑥ **動物の愛護（福祉）**については、動物が命あるものであることにかんがみ、動物をみだりに殺し、傷つけ、苦しめることのないようにし、適切な給餌及び給水、必要な健康の管理その動物の種類、習性等を考慮した環境を確保する。
- ⑦ **動物の適正な飼養**については、販売できなかった動物（奇形・病気など含む）、繁殖を終えた動物などの適正な取り扱いを定める。
- ⑧ 感染症対策、緊急時の連絡体制、獣医師との連携、販売等が困難になった動物の取り扱いを定める。

56

## 健康安全計画作成の考え方

健康安全計画は、動物愛護法第21条の基準項目、犬猫等販売業に係る特例項目を引用すれば骨格は簡単に作れます。

骨格に「具体的に何をどのようにするか？」を各施設の実情に合った内容を書き足していきますが、その前にちょっと「考える」体験をしてみましょう。

取り扱う動物種の中から問①から④にご自身の回答を記入した後、別添の資料を見て答え合わせをしてください。

今回考える際の資料は、次のものを主に引用しています。

- ペット動物販売業者用説明マニュアル（哺乳類・鳥類・爬虫類）
- 馬の飼養管理に関する技術的な指針（農林水産省）・・・など
- インターネットで入手した資料・・・大変役立つもの、面白い内容が多いです。

57

## 鳥の自主研修（約20分）

質問①→②→③→④の順にご自身の回答を記入後、別添資料を読み、答え合わせをします。

問① 鳥の苦情相談について

問② 鳥の採光について

問③ 鳥の病気について

問④ 人と鳥の共通感染症について



58

### 問① 鳥の苦情相談について青色部分に文章を入れてください。

保健所等に寄せられる飼い鳥に関する苦情相談の主なものは、

- 清掃の不徹底による [ ] の飛散
- 多数飼育による臭い、害虫の発生
- ニワトリ、オウム等 [ ]  
などです。

地域の中で人と動物が調和のとれた生活をしていくためには、動物の飼い主と飼っていない人の相互の理解が欠かせません。

それにはまず、飼い主が周囲の人の立場を考慮して責任ある飼い方をすることが最も重要です。

59

### 問② 鳥の採光について青色部分に文章を入れてください。

○採光

鳥の健康のために日光浴も大事です。

1日15分間でも日光にあたることで、[ ] の形成を促し、成長を促進します。

夏の強い日光の直射にあうと [ ] にかかることもあり、夏なら朝のうちに日光浴をさせるなど、季節により工夫が必要です。

大きな鳥かごや禽舎なら日の当たる場所と当たらない場所を作り、鳥自身が好きな時間に日光浴ができるようにするとよいでしょう。

60

### 問③ 鳥の病気について青色部分に文章を入れてください。

○ [ ]

飼鳥全般にみられる病気です。動きが鈍くなり、飛べなくなってしまう個体もいます。

[ ] は基礎疾患としても重要で、肝臓疾患、痛風、糖尿病など種々の病気を続発します。

予防としては、規則正しい生活と栄養バランスを考えた餌にすべきです。

猛禽類を除く全ての鳥種には青菜の給餌を忘れてはなりません。

○ [ ]

全ての鳥種で罹患し、若鳥に多発する傾向があります。

特にラブバードでは特徴的な症状を出します。

一般的にはくしゃみ、咳、流涙、眼結膜の発赤・腫脹、鼻汁の排泄などがみられます。

その他、異常呼吸音や呼吸速迫、声の異常といった症状も発現します。

慢性化すると完治しにくいので、早期治療が重要となります。

61

### 問④ 人と鳥の共通感染症について青色部分に文章を入れてください。

○ [ ]

比較的多く発生している病気です。

病鳥や保菌鳥の糞中のクラミジアを吸い込むことで感染します。

また、口移しでえさを与えたり、かまれたりして感染する場合があります。

発病した鳥は元気がなく、さえずりもなくなり、目を閉じて羽を逆立ててふくらんでいます。また、下痢がみられます(お尻がよごれる)。

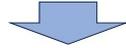
雛や若鳥で症状が重く、死亡することが多いのですが、成鳥では無症状のことがあります。

人が感染すると高熱、頑固な咳など、[ ] に似た症状がみられ、重症の場合は肺炎をおこします。

62

## 爬虫類の自主研修(約20分)

質問①→②→③→④の順にご自身の回答を記入後、別添資料を読み、答え合わせをします。



問① 爬虫類の体温調節について

問② 爬虫類の食事と水について(前半)

問③ 爬虫類の食事と水について(後半)

問④ 飼育ケージ、人畜共通感染症について



63

問① 爬虫類の体温調節について青色部分に文章を入れてください。

爬虫類は、一般に考えられているように単に[ ]の温度で体温が決定されるのではなく、朝のうちや、エサを食べたあとなどは日光浴をして体温を上げたり、逆に暑いときには涼しい場所に避難して、積極的に体温を調整しています。飼育下でもこのような行動がとれるように、飼育ケージ内に場所による温度差を設けるようにします(これを[ ]と呼びます)。

爬虫類は外温動物ですから、それぞれの種の要求に沿った温度管理を行う必要があります。温度により[ ]機能が変わり、成長、内分泌、消化などに大きな影響を与えます。

わが国の夏の気温は、種によっては致命的な場合があり、低温を好む種の飼育にあたっては、エアコンによる温度管理が必要な場合もあります。

[ ]と呼ばれる高温の場所をケージの一方に設置し、もう一方は低温になるように、このためにも飼育ケージにはゆとりのあるサイズが要求されます。

64

問② 爬虫類の食事と水について青色部分に文章を入れてください。

人工飼料が非常に発達しており、これだけで終生飼育が可能な[ ]ガメ類以外の種においては、飼育している種に合ったエサを与えなければなりません。

肉食の種には、エサ用に販売されている昆虫類やマウス、魚、貝類、脂肪分の少ない肉などをそれぞれの種の食性に合わせて与えます。

特にコオロギやミルワームといった昆虫類はカルシウム・[ ]比が悪いので必ずカルシウムの粉末をまぶして与えるようにします。

これに加えてビタミン、ミネラルなどの粉末も定期的に加えます。マウスは完全栄養であると考えられることが多いのですが、[ ]されたものはビタミンが破壊されていることを考慮し、やはり定期的なビタミンの添加が推奨されます。

65

問③ 爬虫類の食事と水について青色部分に文章を入れてください。

草食種には、市販の野菜、果実、野草などを与えます。ここでも[ ]とビタミンの添加は必須となります。

雑食で何でも食べるから飼育しやすいという表現をされる種がありますが、これは逆に様々なものを[ ]よく与える必要があるということで、必ずしも飼育しやすいわけではありま入手しやすい食餌に偏ることのないように注意が必要です。

飲用の水は必ず用意します。[ ]類には止水を水と認識しない種があり、霧を吹いたり、ドリップ式の容器を用意する必要もあるでしょう。

乾燥した地域に生息するリクガメ類には、水を飲もうとしない個体が見受けられます。このような場合は、無理に飲ませようとするよりは、食餌に[ ]などの水分量の多いものを混ぜて与えるといいでしょう。ヘビ類には必ず全身を浸すことのできる水容器を設置します。

66

#### 問④ 飼育ケージ、人畜共通感染症について、青色部分に文章を入れてください。

(飼育ケージ)一般的に求められる条件は、飼育個体に対して十分な□を持つこと、脱走できないこと、□や□の管理がしやすいこと、給餌や清掃といったメンテナンスがしやすいこと、観察がしやすいことなどです。

小型種であっても、□スペースを与えないと精神的に□しない種や個体が存在します。個体が小さいからといって短絡的に小さなケージで飼育することは避けるべきでしょう。

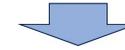
世界で約200種類近くある「人と動物の共通感染症」の中で、爬虫類から人に感染する恐れのある代表的な病気は□菌による感染症です。国内でも□から感染した事例があり、新聞などで報道され注意が呼びかけられたことがあります。

□症は細菌性食中毒の代表といえますが、人に感染すると急性胃腸炎の症状が出て、時には□を起こし生命にかかわる事態となることもあり、5歳未満の子供や高齢者、基礎疾患のある人(糖尿病などの免疫機能が低下する疾患)及び妊婦は特に注意を要します。

67

### 馬の自主研修(約20分)

質問①→②→③→④にの順にご自身の回答を記入後、別添資料を読み、答え合わせをします。



問① 馬の病気について

問② 馬の正常な体温・脈拍などについて

問③ 馬の観察・記録について

問④ 飼養衛生管理基準について



68

#### 問① 馬の病気について次の青色部分に文章を入れてください。

競走馬が疾走するためには、骨、筋肉、心臓、肺をはじめとした臓器が健常であることが必要不可欠です。

骨や筋肉の異常は、歩様の乱れとして現れやすいため発見は比較的容易ですが、□や□の異常は運動を負荷しないと分かりにくいことが多いようです。

競走馬の呼吸器疾患のうち、喉頭片麻痺のような上気道の異常は、運動を負荷すると現れやすい疾患ですが、気管支炎や□に代表される下気道疾患は、症状や重症度を把握することが難しい疾患です。

しかし、気管支炎や□は、競走馬の運動能力に大きく影響し、ときにその生命をも奪いかねない重要な疾患ですので注意が必要です。

69

#### 問② 馬の正常な体温・脈拍などについて青色部分に正常値を入れてください。間違ってもOKです。

(1)体温

成馬の平熱は□~□℃(微熱は□℃、中熱は□℃、高熱は□℃以上) 幼駒ではやや高めである。

(2)脈拍数

幼駒の脈拍は 80~120 回/1分、当才は 60~80 回/1分、1歳は □~□ 回/1分、成馬の脈拍は □~□ 回/1分

(3)呼吸数

静止時の成馬の呼吸数は 8~□ 回/1分

70

### 問③ 馬の観察について青色部分に文章を入れてください。

#### 【馬の観察・記録】

馬が快適に飼養されているか確認するため、馬の健康状態を常に把握しておくことが重要である。馬の健康悪化の兆候として、の変化、の状態の変化、目やに、鼻水、下痢、食欲不振、倦怠状態、速く不規則な、持続的な咳や喘ぎ、震え、発汗の異常、跛行、異常行動等が挙げられる。

飼養環境が馬にとって快適か把握するため、毎日記録をつけることが重要である。記録する項目として、馬の健康状態、疾病及び事故の発生の有無並びにその原因、飼料の給与量又は摂取量、水が適切に給与されているか、及び温度、湿度等が挙げられる。

71

### 問④ 飼養衛生管理基準について青色部分に文章を入れてください。

馬の所有者は、飼養する馬について、馬の疾病の発生の予防及びまん延の防止に対する責任を有する。

関係法令を遵守するとともに、この項及び飼養衛生管理の規定を踏まえ、農場の体制を構築し、農場の所在地域で飼養されている馬の所有者その他の関係者と協力して衛生管理の意識を高め、衛生管理を行うこと。

また、馬の所有者以外に飼養衛生管理者がある場合にあつては、常時連絡が可能である体制を確保し、この項の取組について確実に当該飼養衛生管理者に実施させること。

72

## ウサギの自主研修(約20分)

質問①→②→③→④にの順にご自身の回答を記入後、別添資料を読み、答え合わせをします。



問① ウサギの生態等について

問② ウサギの繁殖と管理等について

問③ ウサギの手入れ等について

問④ ウサギの病気等について



73

### 問① ウサギの生態について青色部分に文章を入れてください。

耳は血管が張りめぐらされた敏感なところであり、が発達していないため、ここで体温調節の役目を果たしています。

に弱い動物の1種といえます。反面、水はよく飲み、水分が不足すると自分の尿を飲むようになりますし、子育てのときは子を食べてしまいます。

本来、性であり、食性は草食性。木の皮や若木、草やその根、実、畑の作物などを食べています。

と固くて丸い便の2種類の便をし、はもう一度肛門から直接食べてビタミンB12などの未消化栄養素を吸収するという二重消化の特徴をもっています。

74

### 問② ウサギの繁殖と管理等について青色部分に文章を入れてください。

オスには順位制があります。寿命は、5年～年で、性成熟は品種により違いがあり4～10ヵ月（大型種ほど遅い）です。排卵のため1年中繁殖可能ですが、だいたい1年に3～4回（1回に4～7羽）繁殖するようです。妊娠期間は30～35日で離乳期は45日前後です。

ふだんはおとなしいですが、不妊手術をしていない場合、発情すると特にオスは気が荒くなり、咬まれると思わぬケガをすることがあります。

また、鋭いに指を当てただけでもケガをすることがありますので、幼児や児童が扱う場合には注意が必要です。

体臭はほとんどありませんが、の量が多いので、処理を怠ると臭気がひどくなります。

75

### 問③ ウサギの手入れ等について青色部分に文章を入れてください。

幼齢時からに馴染ませ、時々心掛けましょう。特に毛が抜け替わる春から夏にかけては念入りする必要があります。湿気に弱いのでは禁物です。爪が伸びすぎると歩行困難を起こしますので、伸びた場合には爪切りが必要です。

ケージの中だけではが足りません。目の届くときに部屋の中で遊ばせましょう。その際、室内にはケガや事故の原因となるものが多いことに留意し、予め防止策を講じておくことが必要であり、電気コードや観葉植物、家具類、たばこなどかじられたり食べられたりしないように、また、家具類の上の置物が落下しないようにします。

遊ぶときに、敏感なを掴んで持ち上げるのは苦痛となるので禁物です。また、を支えて抱くのは、時にジャンプして落下したときに骨折しやすいので、これも禁物で、抱くときは必ずお尻を支えにしましょう。

76

### 問④ ウサギの病気等について部分に文章を入れてください。

尻に糞がこびりついていたりすると下痢をしています。また、ウサギの糞はやや硬めであまり臭いませんが、が悪くなると臭ってきますし、軟便になります。

は細菌感染によるものが多く、腐った食物を与えないことや給水器、食器、環境の清潔を保つことが予防となります。

血便のときは腸内へのという原虫の寄生によるもので、この寄生はウサギには多いといわれ、感染しても元気なときは症状は出ませんが、ストレスなどが原因で現れてきて、発症すると死亡率も高いものです。

糞がいつもより硬くなるとこの病気が疑われます。ウサギは毛づくろいをよくしますので毛を飲み込みやすく、排泄できずに消化管の中にたまと起こります。ひどくなると便秘になり食欲不振、体重減少となります。を怠らず、またおやつが多給などで偏食させず、排泄しやすいように乾牧草を欠かさず与えることが予防となります。

77

## モルモットの自主研修(約20分)

質問①→②→③→④にの順にご自身の回答を記入後、別添資料を読み、答え合わせをします。



問① モルモットの生態等

問② モルモットの飼育等

問③ モルモットの食事

問④ モルモットの管理と病気



78

### 問① モルモットの生態等ついて青色部分に文章を入れてください。

頬袋はなく、食物を巣内に貯める習性や冬眠習性はありません。□の周囲に皮脂腺があり、尻を押しつけて臭い付けをし、嗅覚は敏感で他の個体の臭いを嗅ぎ分けます。聴覚も優れていて、小さな物音にも敏感に反応します。

群居性で、色々な□でコミュニケーションを図っており、オスには順位制があります。食性は□な草食性。

人と同じく体内でビタミン□を合成できない数少ない動物です。

本来は夜行性ですが飼い主の生活に活動周期を合わせることができます。平面活動が中心。□には割合に強く、□に弱い動物です。寿命は5～15年(平均10年)です。

79

### 問② モルモットの飼育等ついて青色部分に文章を入れてください。

繁殖適期はメスで生後3ヵ月、オスで4ヵ月以上からで、妊娠期間は約□日、1回に平均4頭を産みます。約2週間で離乳します。

よほどのことがない限り噛み付くこともなく、オットリとした人馴れしやすい性質をもっています。□の量が多いので掃除をこまめにしなければ臭いがきつくなります。

屋外の小屋飼いも容易ですが、室内のケージ飼いが一般的です。ケージは水平的になるべく広いもの(1頭飼いで少なくとも□cm四方以上が理想的)で、高さは30cm以上あれば天井はなくても大丈夫です。

床には木製のすのこ□がすっぽりと抜けることのない、また、□を挟むこともない適度な隙間のあるもの)をとりつけ、その上に床材として干し草、ワラなどを多めに敷くと湿気対策になります。

80

### 問③ モルモットの食事について青色部分に文章を入れてください。

主食は□入りのモルモット専用ペレットにし、毎日朝夕2回与えます。□は空気にふれると壊れやすいので、消費期限に注意し、開封したら保管に注意が必要です。

副食としてビタミンCの豊富な色々な野菜(□は適しません)や、タンパク質が豊富な乾牧草(アルファルファなどのマメ科のものが適切。モルモットは□タンパク質を多く必要とし、また歯の伸びすぎ防止にもなります。)を毎日少しずつ与えます。

ハコベやナズナ、シロツメグサ、タンポポなどの野草も喜びます。ビタミンCの豊富なミカンやイチゴ、キウイ、リンゴなどの果物も、□が多いので与えずぎに注意しながら時々与えましょう。

□補給のためにペット用煮干しも時々与えます。

81

### 問④ モルモットの管理と病気について青色部分に文章を入れてください。

長毛種は糞がこびりつきやすいので、お尻の部分の毛はカットするなりして、ストレスを感じさせないように注意しながら時々□も心がけましょう。

□屋なので1日1回はケージから出して遊ばせることが大切ですが、大声を出したり、急に乱暴に抱き上げて驚かせると□することもありますので気を付けましょう。機嫌が悪い時に「キー、キー」と鳴いたり歯をガチガチと鳴らしたりすることがあります。

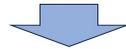
病気発症の場合、ほとんどの例で治療効果が期待できないといわれています。多いのは□の不足による□です。

その他、呼吸器疾患や下痢、皮膚病(細菌や疥癬、シラミなどが原因)などがありますが、多くの死亡例は細菌やウイルス、真菌や寄生虫の感染症なので、特に複数飼いの場合は環境の□を保つことが大切です。

82

### 答え合わせ

別添資料の次のページの黄色をつけた部分を見て答え合わせをしてください。

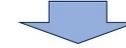


- 問① 鳥の苦情相談→3～4ページ
- 問② 鳥の採光→5ページ
- 問③ 鳥の病気の食事と水→6～7ページ
- 問④ 人と鳥の共通感染症→8ページ

83

### 爬虫類の答え合わせ

別添資料の次のページの黄色をつけた部分を見て答え合わせをしてください。

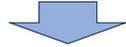


- 問① 爬虫類の体温調節→10～11ページ
- 問② 爬虫類の食事と水→12ページ
- 問③ 爬虫類の食事と水→12ページ
- 問④ 飼育ケージ、人畜共通感染症→11、13ページ

84

### 問① 馬の答え合わせ

■馬の病気については、別添の資料の22ページのオレンジ色部分を見て、答え合わせをしてください。



■別添の資料は「競走馬の呼吸器疾患」鹿児島大学 共同獣医学部 獣医学科の帆保 誠二 教授の投稿資料から引用しました。

85

### 問② 馬の答え合わせ

■馬の体温、脈拍、呼吸の正常値は、別添の資料集の23～25ページのオレンジ色部分を見て、答え合わせをしてください。

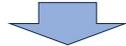


■馬の学校アニベジ(アニマル・ベジテーション・カレッジ)の兼子樹廣先生の馬学講座の投稿資料です。

86

### 問③ 馬の答え合わせ

■馬の観察・記録については、別添の20ページのオレンジ色部分を見て答え合わせをしてください。



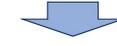
■この資料は、馬の飼養管理に関する技術的な指針(農林水産省畜産局)から引用しています。



■この資料は、27ページの目次の馬の飼養管理全般が網羅されており、健康管理計画作成のヒントになります。

### 問④ 馬の答え合わせ

■馬の飼養衛生管理基準については、別添の30ページのオレンジ色部分を見て答え合わせをしてください。



■この飼養衛生管理基準は、家畜伝染病予防を目的としています。



■ピンク色で網掛した箇所は健康安全計画のヒントになります、時間をがある時にお読みください。

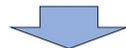
(同基準については、家畜保健衛生所にお問合せください。)

87

88

### ウサギの答え合わせ

別添資料の次のページの黄色をつけた部分を見て答え合わせをしてください。



問① ウサギの生態等→16ページ

問② ウサギの繁殖と管理等→16ページ

問③ ウサギの手入れ等→18ページ

問④ ウサギの病気等→19ページ

### モルモットの答え合わせ

別添資料の次のページの黄色をつけた部分を見て答え合わせをしてください。



問① モルモットの生態等→20ページ

問② モルモットの飼育等→20ページ

問③ モルモットの食事→21ページ

問④ モルモットの管理と病気→21ページ

89

90

質問は難しかったですか？  
 答え合わせの資料を読んで気づいたことは、ありましたか？  
 人畜共通感染症や動物の病気予防は、今どの程度行っていますか？  
 災害への備えは？ → (環境省の基準でも示されています)



健康安全計画やマニュアルは、  
クレームをゼロにする対策でもあります。

クレーム対応の基本原則は、  
①未然防止、②早期対応、③再発防止です。

計画やマニュアルは、①～③を事前によく考えて、  
文書化し、点検記録を行うことです。

質問は、環境省HP、厚生労働省HP、インターネット情報から出題しています。

貴重な知識、情報の宝庫です…  
マニュアル作成は情報収集が大事です。

→面白い内容もザクザク出てきます。

91



旭山動物園さんの「動物園動物の健康管理」を  
みて、気分転換します…？

(計75枚の中から6枚だけ載せました)

プロジェクト Xのような記録映像シーンもあります→アクセスしてみてください。

92

動物園動物の医学③-1 2020.9.15

動物園動物の健康管理

旭山動物園

講義内容  
 動物園における展示動物(飼育下にある野生動物)の健康管理について学ぶとともに、人と動物の共通感染症の観点から野生動物との共生について考える。

1. 展示(動物園)動物の特徴:特徴を理解して健康管理を考える  
 2. 遺伝的に健康な動物の確保:近親交配を避ける  
 3. 新規転入動物の検査  
 4. 飼育環境(展示施設)の整備  
 5. 日常管理としての餌と栄養:心の栄養も動物園ならではの課題  
 6. 日常管理者の健康管理:人と動物の共通感染症を理解する  
 7. 動物園動物の感染症  
 個別症例と対応  
 エキノコックス、クラミジア、BSE、結核、ゾウヘルペス、B型肝炎、SFTS、高病原性インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症

展示(動物園)動物の  
衛生管理のポイント

・野生動物の特徴から考えて  
治療より疾病予防のほうが効果的  
一疾病に対処するより予防にエネルギーを投資する

疾病予防の留意点

①遺伝的に健康な個体を飼育する  
 ②転入動物の検査  
 ③餌と栄養  
 ④寄生虫の予防  
 ⑤感染症の予防  
 ⑥消毒  
 ⑦動物舎や放飼場の環境整備  
 ⑧動物に関わる者の健康管理



93



残り時間で健康安全計画とマニュアルの  
作成を体験してください。

健康安全計画は作成済みの素案で説明します。

マニュアルは、「誰が、いつ、何を、どのようにするか…」を書きます。

94

### 健康安全計画の骨子（イメージ）

- ① 動物の種類、習性、出生年月日、飼養経過、病歴等の健康安全に関する基本情報を個体または群単位で記録する。
- ② 動物の飼養・保管をする環境の管理は、清掃・消毒、飼養場所の温度（最高と最低）・湿度、施設設備の保守点検について、具体的に誰が、何を、どのようにするか手順を決め、関係者に周知する。
- ③ 動物の疾病等に係る措置は、家畜伝染病、人畜共通感染症、動物の病気について予防と防疫が的確に行えるよう責任者の配置、連絡体制、消毒資材の整備、点検記録などを定める。
- ④ 動物の展示・輸送の方法は、展示場所・輸送車両内の通風換気、温湿度調整、休憩時間について定める。
- ⑤ 動物を繁殖の用に供することができる回数、繁殖の用に供することができる動物の選定、その他の動物の繁殖の方法は、飼養経過、病歴等を考慮して動物の健康安全に支障がないように定める。
- ⑥ 動物の愛護（福祉）については、動物が命あるものであることにかんがみ、動物をみだりに殺し、傷つけ、苦しめることのないようにし、適切な給餌及び給水、必要な健康の管理その動物の種類、習性等を考慮した環境を確保する。
- ⑦ 動物の適正な飼養については、販売できなかった動物（奇形・病気など含む）、繁殖を終えた動物などの適正な取り扱いを定める。
- ⑧ 感染症対策、緊急時の連絡体制、獣医師との連携、販売等が困難になった動物の取り扱いを定める。

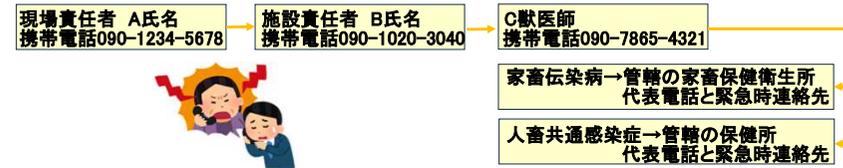
95

### 健康安全計画マニュアル（体験イメージ）

健康安全計画の「③動物の疾病等に係る措置」を例にしてマニュアルを作成してみます。

家畜伝染病、人畜共通感染症、動物の病気の予防と防疫が的確に行えるよう責任者の配置、連絡体制から始めましょう。

■責任者の配置と連絡体制のイメージは次のとおりです。不在者は次の責任者が代行する、夜間など緊急時にも対応できるなどの工夫をしますとよいです。



クレーム対応も連絡体制に入れると適切な処理ができます。

96

### 健康安全計画マニュアル（体験イメージ）

「③動物の疾病等に係る措置」は、家畜伝染病、人畜共通感染症、動物の病気について予防と防疫が的確に行えるよう責任者の配置、連絡体制、消毒資材の整備、点検記録などを定める。・・・と計画に書いています。

マニュアルでは、具体的に何をするかなどを次の例のように作成します。

■次に家畜伝染病、人畜共通感染症、動物の病気は何を対象にするか調べます。

- ・監視伝染病は、対象動物種に該当する伝染病を資料〇〇ページをみて記入します。
- ・人畜共通感染症は、資料〇〇ページをみて記入します。
- ・資料に記載がない場合は、「該当なし」と記入しましょう。

（マニュアル記載例）

鳥類の家畜伝染病は鳥インフルエンザ、人畜共通感染症はオウム病を対象とする、異常な鳥、死鳥を毎日確認し、疑いがある場合は連絡体制により獣医師の診察を依頼する。（サンプル文面）

97

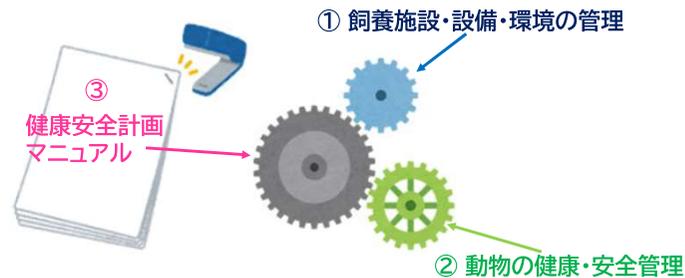
### 健康安全計画マニュアル（体験イメージ）

#### ■消毒資材の整備等

- ・飼養施設の出入口に入室者の手指消毒用の70%アルコールスプレー容器を配置し、アルコール液の残量を毎日、開店前と閉店後に飼育担当者が確認し、液の不足があれば補充する。
  - ・病気が疑われる場合は、飼育ケージ等を洗浄後、疑われる病気に有効な消毒薬を使用して消毒する。
- \*消毒薬の使い方は、資料●●ページを見て、濃度（水での薄め方）などを記入します。

98

①+②+③が上手く噛み合い、回ることが重要です



健康安全計画やマニュアルは、少しずつ積み重ねていくことで、動物の健康・安全が守られ、クレームをゼロにできます。

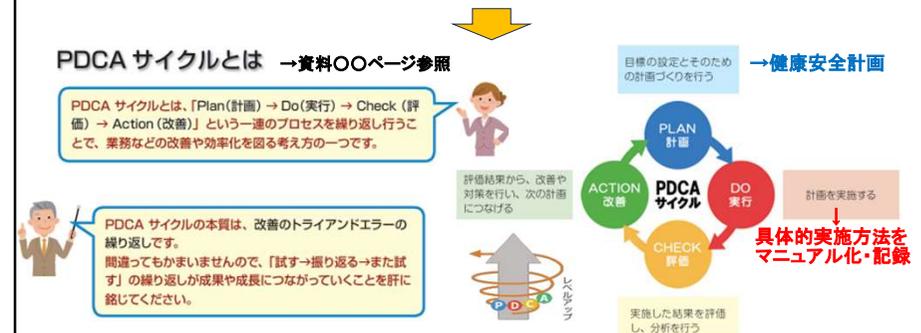
動物の健康やクレームの未然防止、早期対応、再発防止にマニュアルを活用してください。

99

## 健康安全計画の運用（PDCAでレベルアップ）

馬、鶏、山羊、羊などの家畜を飼養する際は、**家畜伝染病予防法の飼養衛生管理基準**も参考になります。

健康安全計画をもとに具体的な実施方法をマニュアルで示し実行→実施結果を記録→評価→計画の改善を行うPDCAサイクルでレベルアップしていきます。最初はシンプルな内容で作成し、資料をみて追加していきます。



100

## 該当する皆様への連絡事項です

- 1 販売、展示、貸出業の方は、前年度の頭数増減の**定期報告を翌年度5月末までに必ず提出**してください。法律で義務付けられていますので原則文書での通知はありません。
- 2 修了証書の**事業所名は、各施設の登録証に記載された名称**にしています。名称が変わっている場合は、**変更届**をご提出ください。
- 3 動物取扱責任者になる資格等をお持ちの参加者の方は、**早めに変更届**をご提出ください。

101

## 本日のオンライン研修のご参加大変お疲れさまでした

- 1 事前に資料と一緒にメールで送りましたアンケートに記載された二次元コードを読み取り、オンラインで回答するか紙に印刷してFAX等で提出ください。
- 2 アンケートの提出が確認されましたら、修了証書をメールで送付します。（修了証書の記載に不備がありましたら後日差し替え送付いたします。）
- 3 音声や資料画面が見えないなどで受講ができなかった方は後日、大分県動物愛護センターに現地受講に変える連絡をしてください。

102

本日の研修会へのご参加大変お疲れさまでした



- 1 引き続き受講される方がいますので、静かにご退室ください。
- 2 記入したアンケートを受付に提出し、修了証書をお受け取り下さい。  
(修了証書の記載に不備がありましたら後日差し替え送付いたします。)
- 3 お忘れ物がないか今一度ご確認ください。